

第 148 期 中間報告書

2013年4月1日から2013年9月30日まで



国内累計販売台数
(全軽自協資料よりスズキ調べ)

WAGON R

ワゴンR 20周年記念車



写真は、ワゴンR 20周年記念車



※1 軽ワゴン=全高1,550mm以上の軽自動車。JC08モード走行燃費(国土交通省審査値)に基づく。MRワゴンの一部グレードも同率となります。2013年7月現在、スズキ調べ。

※2 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第148期中間報告書をお手許にお届けするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当社グループを取り巻く経営環境は、欧州の景気低迷、米国の財政問題への対応による影響等に加え、アジアでも景気減速が懸念される状況にあります。一方、国内においては、デフレ脱却の動きの中で、超円高の緩和、経済対策の効果などを背景に、景気は着実に回復しています。

このような状況下、当第2四半期の連結売上高はアジアや欧州で増加し1兆3,702億円と前年同期に比べ1,434億円(11.7%)増加しました。国内売上高はOEM売上の減少等により5,043億円と前年同期に比べ108億円(2.1%)減少しました。海外売上高は8,659億円と前年同期に比べ1,542億円(21.7%)増加しました。

連結利益の面では、営業利益は四輪車事業の収益拡大、二輪車事業の損益改善等により903億円と前年同期に比べ242億円(36.5%)の増加、経常利益は924億円と前年同期に比べ224億円(32.0%)の増加、四半期純利益は517億円と前年同期に比べ98億円(23.3%)の増加となりました。

なお、当中間期の配当金につきましては、当第2四半期の連結業績が前年同期から大幅に改善したことを踏まえ、1株につき直近の配当予想より2円増配し、10円(前年中間配当8円)とさせていただきます。

当社グループを取り巻く環境は、引き続き厳しい状況が続きますが、当社グループ一丸となってあらゆる分野での改革に取り組み、業績の向上を目指し事業活動を展開してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2013年11月



代表取締役会長兼社長

鈴木 修

(後列左から)

代表取締役副社長 代表取締役副社長 代表取締役副社長 代表取締役副社長

原山 保人 本田 治 田村 実 鈴木 俊宏

株 式 (2013年9月30日現在)

- 株式の総数 発行可能株式総数 1,500,000,000株 発行済株式の総数 561,047,304株
- 単元株式数 100株
- 株 主 数 42,147名
- 大 株 主

株 主 名	持 株 数 (千株)	持株比率 (%)
フォルクスワーゲン アーゲー	111,610	19.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	22,942	4.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	19,200	3.4
東京海上日動火災保険株式会社	17,961	3.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	16,000	2.9
株式会社静岡銀行	14,500	2.6
株式会社りそな銀行	13,000	2.3
ザバンクオブニューヨーク-ジャスディックノントリーティーアカウント	10,797	1.9
株式会社損害保険ジャパン	9,500	1.7
新日鐵住金株式会社	7,759	1.4

- (注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は、自己株式 16,441株を保有しております。
3. 持株比率は、当社保有の自己株式を除いて算出しております。

●株主優待制度について

当社では、株主様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社製品の一層のご愛用を願ひまして、2013年3月31日現在で1単元(100株)以上を保有の株主様を対象に、株主優待を以下のとおり実施いたしました。

<優待内容>

当社の欧州生産拠点マジャール スズキ社の所在国ハンガリーの産品である「ハンガリーアカシアはちみつ」と、天然のミネラルを豊富にバランスよく含んだドイツ原産の「岩塩」の詰め合わせ



(※) 株主優待品につきましては、2013年3月31日現在のご登録ご住所あてに5月中旬~6月末頃にかけて発送いたしました。ご住所変更や長期ご不在などの理由による優待品不達の場合は再発送手続きは、2014年4月末日をもって終了させていただきますのでご了承願います。

会社の概要 (2013年9月30日現在)

- 社 名 スズキ株式会社
- 英文社名 SUZUKI MOTOR CORPORATION
- 本 社 静岡県浜松市南区高塚町300番地
- 設 立 1920年3月
- 資 本 金 138,014,762,161円
- 決 算 期 3月31日
- 従 業 員 数 連 結 57,545名 (就業人員数) 単 独 14,748名

●役員氏名 (2013年10月1日現在)

※取締役会長兼社長	鈴木 修	常勤監査役	神村 保	専務役員	杉本 豊和	常務役員	近藤 唯志
※取締役副社長	田村 実	常勤監査役	中村 邦夫	専務役員	鮎川 堅一	常務役員	村上 元男
※取締役副社長	本田 治	監査役	石塚 伸	常務役員	青山市三	常務役員	笠井 公人
※取締役副社長	鈴木 俊宏	監査役	大須賀正孝	常務役員	蓮池 利昭	常務役員	大石 泉
※取締役副社長	原山 保人	監査役	田中 範雄	常務役員	内田 博康	常務役員	豊田 泰輔
取締役専務役員	相澤 直樹			常務役員	岩月 隆始	常務役員	長尾 正彦
取締役専務役員	望月 英二			常務役員	袴田 和夫	常務役員	大草 立義
取 締 役	井口 雅一			常務役員	松浦 浩明	常務役員	相曾 友吉
取 締 役	谷野 作太郎			常務役員	古庄 誠一	常務役員	加藤 明
				常務役員	大橋 恒雄	常務役員	永尾 博文

- (注) 1. ※印は、代表取締役であります。
2. 取締役のうち、井口雅一及び谷野作太郎の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。また、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。
3. 監査役のうち、石塚 伸、大須賀正孝及び田中範雄の三氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。また、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	当第2四半期連結会計期間 (2013年9月30日現在)	前連結会計年度 (2013年3月31日現在)
	資産の部	
流動資産	1,619,832	1,560,218
現金及び預金	267,314	279,009
受取手形及び売掛金	253,845	253,237
有価証券	619,071	559,609
商品及び製品	203,522	183,195
仕掛品	24,955	30,334
原材料及び貯蔵品	49,403	47,850
その他	207,842	212,869
貸倒引当金	△ 6,121	△ 5,887
固定資産	1,008,672	927,416
有形固定資産	639,417	608,460
無形固定資産	7,696	10,618
投資その他の資産	361,558	308,337
投資有価証券	269,246	216,332
その他	93,021	92,748
貸倒引当金	△ 708	△ 743
投資損失引当金	△ 1	-
資産合計	2,628,505	2,487,635
負債の部		
流動負債	934,382	884,616
買掛金	388,348	350,472
短期借入金	204,861	207,090
未払法人税等	30,981	21,420
製品保証引当金	60,668	57,656
関係会社整理損失引当金	4,561	5,521
その他	244,960	242,455
固定負債	319,144	304,464
長期借入金	216,517	220,392
退職給付引当金	37,930	37,903
災害対策引当金	16,952	17,214
その他の引当金	7,583	7,226
その他	40,160	21,728
負債合計	1,253,526	1,189,081
純資産の部		
株主資本	1,240,642	1,194,597
資本金	138,014	138,014
資本剰余金	144,364	144,364
利益剰余金	958,340	912,304
自己株式	△ 76	△ 86
その他の包括利益累計額	△ 9,197	△ 47,642
その他有価証券評価差額金	93,673	58,888
繰延ヘッジ損益	5,097	1,687
為替換算調整勘定	△ 107,968	△ 108,218
新株予約権	131	84
少数株主持分	143,401	151,513
純資産合計	1,374,978	1,298,553
負債純資産合計	2,628,505	2,487,635

連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (2013年4月1日から 2013年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (2012年4月1日から 2012年9月30日まで)
	売上高	1,370,189
売上原価	985,146	917,268
売上総利益	385,042	309,557
販売費及び一般管理費	294,743	243,414
営業利益	90,298	66,142
営業外収益	15,480	13,009
受取利息	4,531	3,992
受取配当金	3,202	2,450
持分法による投資利益	173	251
その他	7,572	6,314
営業外費用	13,369	9,149
支払利息	2,831	2,705
有価証券評価損	40	3,502
為替差損	8,100	971
その他	2,396	1,970
経常利益	92,410	70,002
特別利益	661	410
固定資産売却益	652	410
投資有価証券売却益	8	-
特別損失	369	257
固定資産売却損	311	257
投資有価証券売却損	0	-
減損損失	58	-
税金等調整前四半期純利益	92,702	70,155
法人税等	31,626	25,504
少数株主損益調整前四半期純利益	61,075	44,650
少数株主利益	9,425	2,748
四半期純利益	51,650	41,901

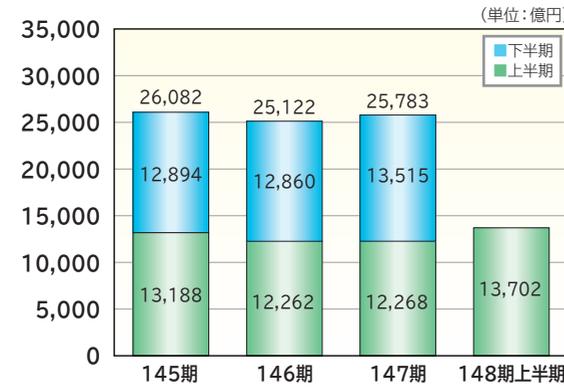
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨て)

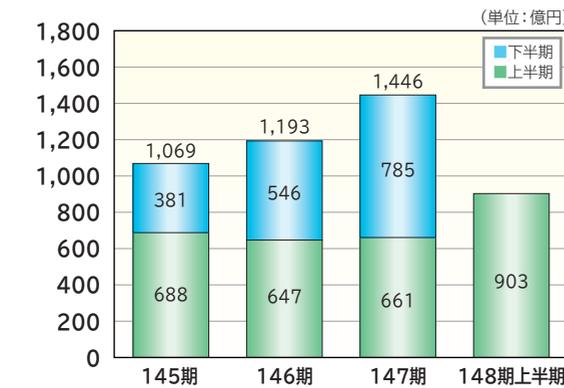
科 目	当第2四半期連結累計期間 (2013年4月1日から 2013年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (2012年4月1日から 2012年9月30日まで)
	営業活動によるキャッシュ・フロー	164,280
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 82,484	△ 65,898
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,942	△ 8,919
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,721	△ 4,009
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	72,575	6,160
現金及び現金同等物の期首残高	661,102	710,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	733,678	716,690

連結業績の推移

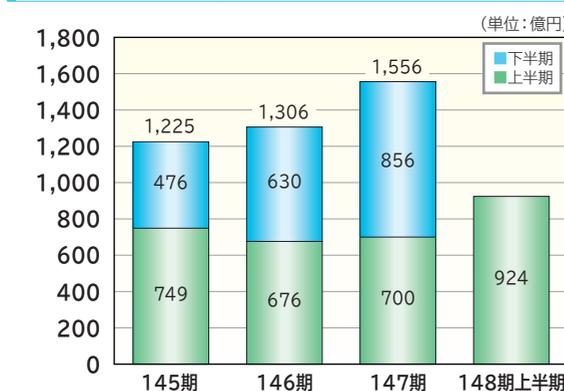
連結売上高の推移



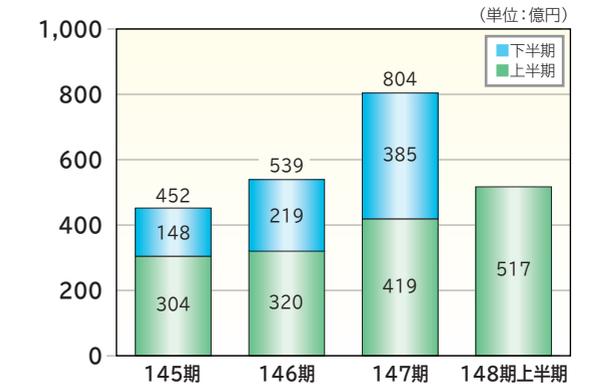
連結営業利益の推移



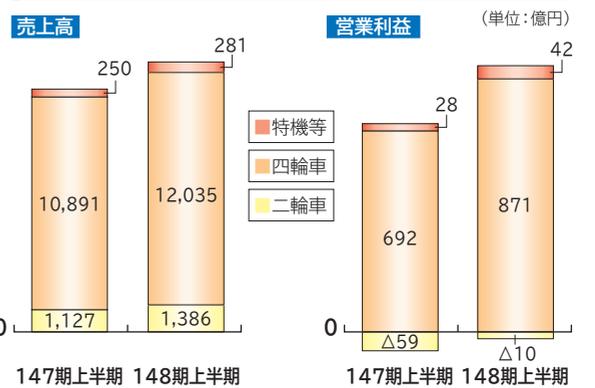
連結経常利益の推移



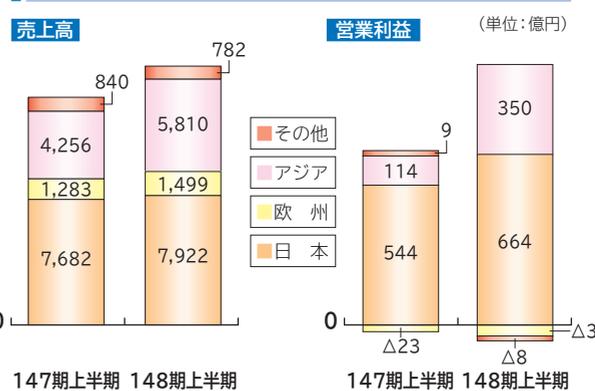
連結当期純利益の推移



事業別の業績



所在地別の業績



トピックス

当社が今期に発売した商品に採用した、先進の安全技術、低燃費化技術についてご紹介いたします。ワゴンRに採用した「レーダーブレーキサポート（衝突被害軽減ブレーキ）」をはじめとした安全技術、スイフトに搭載し低燃費と走りを両立させた「デュアルジェット エンジン」は、今後発売する軽自動車、小型車に積極的に採用し、さらなる商品力の向上を進めてまいります。

先進の安全技術

衝突被害の軽減、誤発進の抑制、急制動時の後続車への合図、車両走行安定補助システムを、ワゴンRのCVT車とスペーシアにメーカーオプション設定しました。

1. レーダーブレーキサポート【衝突被害軽減ブレーキ】

レーダーブレーキサポートは、約5km/hから約30km/hの低速域で自動的に作動する衝突被害軽減ブレーキです。ドライバーの不注意による衝突事故を回避、または衝突時の被害軽減を図ります。



2. 誤発進抑制機能

前方約4m以内の障害物をレーザーレーダーで検知。停車、または約10km/h以下の徐行中、障害物があるにもかかわらずアクセルを大きく踏み込んだ場合に、エンジン出力を自動で抑えて急発進、急加速を抑制します。



3. エマージェンシーストップシグナル

急ブレーキを検知した際の車両速度が約55km/h以上の場合、ハザードランプを自動で高速点滅させて後続車両に注意を促します。

低燃費化技術

ワゴンRから採用した、スズキの次世代環境技術「スズキグリーン テクノロジー」に、新たに「デュアルジェット エンジン」を追加しました。スイフトに搭載した「デュアルジェット エンジン」は、K12B型エンジンをベースに、圧縮比アップによる燃焼効率の改善や、各種エネルギーロスの低減などにより熱効率を極限まで追求し、低燃費と力強い走りを両立しました。

SUZUKI GREEN Technology

環境に配慮しながら、さらに便利で楽しいクルマを実現する。それが「スズキグリーン テクノロジー」です。小さなクルマに次世代の新技术をつめこんで、スズキは、快適なくらしと豊かな未来へ走り続けます。



デュアルジェット エンジンの名称由来

過給器、ハイブリッドシステムに頼らずに、燃費と出力、トルクを両立させる為に取り組んだのが、エンジンの熱効率の向上でした。

これらの性能を実現する為の取り組みが、圧縮比を高めるために燃焼室をコンパクト化、クールドEGRシステムの採用、冷却性能の向上、各部のフリクション低減、そして、「デュアルジェット エンジン」の名称の由来である、1気筒あたり2本のインジェクター（燃料噴射装置）を装備したデュアルインジェクションシステムの採用です。



デュアルインジェクターで燃料を霧状に微粒化し噴射。燃料が燃えやすくなることで熱効率が向上し、ノッキングも抑制します。

6月 モトGP参戦を発表。9月、世界耐久レース4連覇

二輪車レースの最高峰モトGPに2015年より参戦する計画を発表。また、9月にはスズキフランス社のチームが「二輪車世界耐久選手権」で4年連続年間チャンピオンを獲得しました。当社はレース活動を通じ、より魅力的な商品の開発を進めてまいります。



8月 軽トラック新型「キャリイ」を発表

軽トラック「キャリイ」を14年ぶりに全面改良しました。乗り降りしやすいゆとりのキャビンと広い荷台。新型エンジンの採用で低燃費を実現。サビ対策に加え耐久性や安全性も向上させました。2013年度グッドデザイン・ベスト100にも選出されました。



9月 インドネシアでエコカー「ワゴンR」を発表

インドネシア子会社スズキ・インドモーター・モーター社が、政府のLCGC (Low Cost Green Car) 政策に適応した低燃費の「ワゴンR」(現地名: KARIMUN WAGON R) を発表。1.0Lの5人乗り乗用車で、9月より同社タンブン工場生産を開始しました。



株主メモ

定時株主総会	6月中	株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告します。	同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告によります。 但し、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、東京都において発行される日本経済新聞に掲載して行います。 http://www.suzuki.co.jp/ir/index.html	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行事務センター 0120-782-031 (フリーダイヤル)
証券コード	7269	同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

株式に関する各種手続きについて

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について	未払配当金の支払いについて
<p>①証券会社をご利用の株主様 お取引の証券会社にお申出ください。</p> <p>②証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。</p>	<p>株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。</p>



写真は、GSR750 ABS